



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

ロータリー：
変化をもたらす

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10)
例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成 29年 9月19日(火) 第2817回 例会 (本年度第10回)

10月10日(火)	休 会
10月17日(火)	振替休会(10/21鶴岡東ロータリークラブ創立30周年記念式典に振替)
10月24日(火)	黒豚家族例会
10月31日(火)	ゲストスピーチ 鶴岡警察署長 奥山 啓氏



Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/



10月 会 員:小林健郎君
配偶者:阿部喜代子様

会長報告

会長/木村 節

クラブとしての奉仕プロジェクト

財団補助金を活用して、地元における奉仕プロジェクトを少なくとも1つ実施する。

児童養護施設、特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)、障害者福祉施設などで観劇、映画会、昔語り、舞踊、芋煮会、餅つき、野外活動による交流・慰問などを計画する。

現在、私の母が圧迫骨折により入院中です。年齢は92歳で、歩くことについては、不自由があるものの、頭脳については、私以上に明晰です。

老人介護は、誰しものが今後抱える事例かと思えます。当クラブでも鈴木ガバナーの要望を今後理事会等で会員の皆様の意見を伺いながら実施したいと考えます。

健康年齢の維持、それは体力・気力どちらも兼ね備えて老後に備える準備は今から必要です。

自分自身で、今、何をやって健康維持をしているかと自問自答してみると、これといって具体的な事はしてません。本来、禁煙すべきなのでしょうが、たばこの本数を一日一箱から15本減らすだとか、犬との散歩時間を長くする、速足で歩くだとか目標を決めて健康に留意しているのが現状です。

蛇足ですが、昨日愛犬が前庭疾患になり急に右半身がおかしくなりました。投薬により回復すると



獣医さんの見立てですが、ペットも今や家族同然であり今後介護に努めて行きたいと思いました。

公式訪問スピーチ(概略)

国際ロータリー第2800地区ガバナー 鈴木 一作君

ガバナーの役割

ガバナーは、『ロータリーの目的』の推進・達成のために、地区内クラブの指導・支援・奨励・意欲喚起を行うことを主たる任務としたRI役員です。言い換えれば、クラブが活性化・発展するようにお手伝いをするということです。



ガバナー公式訪問の目的

ここでいう「クラブの指導」とは、ロータリーに対する理解を深めてもらうことです。また、「クラブの支援」とは、クラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)の柱である「奉仕プロジェクト、会員増強、ロータリー財団支援、リーダー育成」について、具体的に有効な提案をすることです。そして、それらを奨励し、意欲を喚起することが、本日のガバナー公式訪問の主たる目的です。

年次計画書のガバナーメッセージの意味

「指導」や「支援」の詳細については、クラブリーダーにPETSや地区研修・協議会を通じて伝えるところです。今年度は、それらの内容を各クラブの年次計画書のガバナーメッセージにも掲載していただきました。通常4~5ページのところで、約20ページのメッセージとなっていますが、クラブ会員にも詳細を伝えの方が効果的であると考えたからです。日本をはじめ、世界中から良質な考え方や事例を集め、紹介・提案していますので、次年度以降のクラブ運営にも参考になると思います。

出席報告

会員数	29名
出席	20名
出席率	74.07%
前々回確定出席率	88.89%

RI会長 イアン H.S. ライズリー ■地区ガバナー 鈴木 一作

■会長/木村 節 ■副会長/菅原成規 ■幹事/佐藤詩郎 ■会長エレクト/武田啓之
■会報委員会/阿蘇司朗・菅原成規・迎田 健・前田 優・真島吉也

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F ☎(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

クラブ自治権

留意して欲しいのは、それらの「指導」や「支援」の詳細に従うことを求めているのではないということです。あくまで、クラブの事情や特性に応じて取捨選択、あるいは修正しながら（＝クラブ自治権）活かして欲しいということです。

RI 会長賞を目指す意味

RI 会長イアンライズリー氏は、クラブが活性化・発展するための有効な手法として、RI 会長賞を目指すことを強く要請しています。特に今年度は、2800 地区の石黒慶一パストガバナーが RI 理事です。それだけに、2800 地区の全クラブが RI 会長賞をとり、イアンライズリー会長の思いに応えることは、石黒 RI 理事への最大の応援ともなるのです。皆様のご協力を、心からお願い申し上げます。

RI テーマの意味

今年度の RI テーマは、「ロータリー：変化をもたらす」です。ここで言う「変化」とは、「発展」です。そのためには、「本質や重要な事には固執（不易流行）」しながらも、「前例や先例は尊重するが、とらわれない。より良いものを目指す（発展）」という姿勢こそが大切だと思います。

ガバナー月信の主眼

ガバナー月信は、各クラブへガバナーの想いを直接伝えることができるだけに、とても大切に考えています。それだけに、「地区からの報告ではなく、ガバナーの私信である」ことに固執した上で、「必要で大切な内容だけを、皆が読みたくなるように伝える」ことを主眼に、編集・発行いたしたく存じます。

地区目標の意味

今年度の地区目標「美しい心、ロータリアンの矜持 ～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動」は、「ロータリーの本質」に固執したいという想いを表現したものです。酒井年度、長谷川年度も表現こそ違うものの、地区目標にこめた想いは同じです。まさに、永遠不滅の「ロータリーの本質」だと思います。

ガバナーからの評価

第2ブロックガバナー補佐 大滝孝一君



本日は、ガバナー公式訪問の日です。先程、鈴木ガバナーとの協議会の席で、クラブ運営が大変素晴らしいとお褒めの言葉がありました。

鈴木ガバナーは、25 クラブの訪問を終えられ、こちらが 26 クラブ目だそうです。もう連日大変だとは思いますが、ぜひ健康に気をつけて今後ともクラブ訪問を続けていただければと思います。



〈テーブル発表〉

☆1 組（富樫松夫君）

クラブ活性化のためにクラブに要望したいこと

- ①出席率を上げる
- ②老若男女のバランスを考えた会員増強

☆2 組（越智茂昭君）

ガバナーに要望したいこと

- ①第 2 ブロックあるいは地区全体での合同例会の開催
- ②スケールメリットを生かした奉仕活動の実施

☆3 組（武田啓之君）

- ①ロータリーのポリオ撲滅などグローバルな活動への理解は地元ではほとんど得られていない
- ②ロータリー精神を地元伝えていく
- ③青少年交換がトレンドになってきている

☆講評（鈴木ガバナー）

一つだけ注文があります。各テーブルで出た多様な意見、これが重要です。意見をまとめる必要はありません。多様な意見は会長の役に立ちます。いろんな意見を聞き、考える事が大事です。



加藤一弘君 鈴木ガバナー公式訪問御苦勞様です。
富樫松夫君 鈴木ガバナー、大滝ガバナー補佐、公式訪問ご苦勞様です。地区大会に向けて体調を整え頑張ってくださいと思います。

